

保護者の皆様

大阪府立豊中支援学校

校長 平井 晋也

## 令和5年度 学校教育自己診断集計結果について(報告)

日ごろより、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

学校教育自己診断アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。集計結果と考察を以下の通りご報告いたします。また、児童・生徒の代表委員会が実施している「学校についてのアンケート」についても併せてご報告いたします。

資料として、「令和5年度 学校教育自己診断 保護者・教職員集計 評点順一覧表」と「令和5年度 生徒向け 学校生活アンケート 評点順一覧表」も同時にお配りしていますので、ご覧ください。今年度より、教員アンケート、生徒アンケートについては、Google フォーム(タブレット端末やパソコン機器等を使用)での実施としました。

### 1. 評点の計算方法について

A:よく当てはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:全く当てはまらない

計算式 →  $\{(A \times 3) + (B \times 2) + (C \times 1)\} \div (\text{回答実数} \times 3) \times 100$

実回答者全員が A にすると 100 点となる。

### 2. 回収率について

		全校
【保護者】	配布数	451
	回答率	71.6%
【教職員】	教員数	176
	回答率	95%
【生徒】	対象生徒数	91
	回答率	55%

生徒は中学部 1 グループ、高等部の A グループ、B グループの 91 名を対象とした。

### 3. 集計結果について

#### ①上位の 3 項目の評点

##### 【保護者】

- 6 学校は、連絡帳や電話連絡等で家庭への連絡を適切に行っている。-----93.3
- 2 子どもは楽しく学校に通っている。-----91.8
- 20 学校は、授業参観や懇談、学校行事などに参加する機会を設けている。-----91.2

##### 【教職員】

- 18 わたしは、児童・生徒に人権意識をもって接し、体罰やいきすぎた指導は行わない。-----99.4
- 21 わたしは、児童・生徒の障がいについて理解し、課題に合った教育活動をしている。-----99.4
- 25 わたしは、校内におけるいじめ事象等が発生した場合に報告や連携を含めてきちんと対応することができる。-----99.3

##### 【中学部・高等部生徒】

- 13 あなたは、タブレット端末で楽しく授業できていますか。-----89.9
- 7 先生は、約束(きまりやルール)について、教えてくださいか。-----87.8
- 1 あなたは、友だちと、楽しく過ごせていますか。-----87.7

## ②下位の3項目の評点

### 【保護者】

- 13 学校は、子どもが学習しやすいように施設・設備が整えられている。-----73.3  
14 学校は、ICTを活用した教育活動に取り組んでいる。-----74.3  
21 学校は、ホームページやブログなどを活用して、情報の発信に取り組んでいる。-----77.7

### 【教職員】

- 14 わたしは、PTA活動を理解している。-----59.6  
3 教科会・教科研などを通じて、各教科で教材などに関して学部をこえて情報交換ができています。----67.1  
2 教職員の適性・能力が学校運営に活かされている。-----72.6

### 【中学部・高等部生徒】

- 3 あなたは、担任以外にも、気軽に相談できる先生がいますか。-----69.4  
6 あなたは、学校行事に楽しく参加していますか。-----75.5  
5 あなたは、病気や怪我のときに、保健室に行くときと安心できますか。-----77.6

## 4. 考察

### 【保護者】

21項目中、90点台が5項目、80点台が11項目、70点台が5項目となっている。昨年度と比べ、「2 子どもは楽しく学校に通っている。」「17 学校は、学校給食を通して食育の推進に取り組んでいる。」「3 授業内容は、子どもに合うように工夫されている」「5 学校は、生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。」の項目で順位の向上がみられた。全体を通して約8割の項目で80点以上の評価をいただいております。本校の教育活動についてはほぼ肯定的に捉えていただいていると思われる。「21 学校は、ホームページや学校ブログなどを活用して、情報の発信に取り組んでいる」の項目で評価が下がった。今回は「学年だより」という言葉を「ブログ」に変更した。学年だよりだけでなくブログなどでも学校の様子を知っていただきたいという思いを込めた。保護者がアンケートに回答しやすいよう、来年度はGoogleフォームでのアンケートを検討していく。以下の2項目は他と比較して評点が低い。

### ① 設問13「学校は子どもが学習しやすいように施設・設備が整えられている。」 73.3

教育環境の改善については毎年大阪府に要望しているが整備に時間を要している。来年度は校区再編成で転校する児童・生徒もいるが、新転入学者数も多く本校の児童生徒数は現状とほぼ変わらない。これまで同様に特別教室等を普通教室に転用する必要性があり、特別教室や休憩場所等の施設・設備の充実には難しい。限られた環境の中で、教室内環境整備や防災の観点からの安全・安心のための学校全体の環境整備等を検討しながら進めているが、今まで以上に工夫し、整備していくことが求められる。

### 設問15「学校はICTを活用した教育活動に取り組んでいる。」 74.8

「ICT(情報通信技術)を活用した教育活動」について注釈をつけたものの、具体的にどのようなものかをイメージし難かったのではないと思われる。本校においてもICTの活用については着実に進めているところであるが、参観やブログ等で、ICTを活用した授業等の様子や効果を保護者に発信し、伝えていく工夫が必要である。

### 【教職員】

26項目中、90点台が12項目、80点台が8項目、70点台が4項目となっている。「21 児童・生徒の障がい理解と課題にあった教育活動」「18 人権意識を持った対応」、「25 いじめの未然防止や事象対応」については教員の99%が意識して取り組んでいる結果となった。昨年度と比べ「15 教員間の連携」「17 保護者の相談」「19 キャリア教育の実践」についての評点が向上しており、児童・生徒の将来を見据え、保護者と教員、教員同士で連携して指導支援しようとする姿勢がうかがえる。以下の2項目は70点を下回っている。

① **設問14 わたしは、PTA 活動を理解している。 59.3**

学校生活が通常に戻り、運動会、豊中フェスティバル、親睦会や交流会、花壇の植え替え等、役員の方々を中心に PTA 活動が活発に行われている中で、教員が PTA 活動に参加・協力する機会も多くなっている。設問の「PTA 活動の理解」という文言について今後検討していく。

② **設問3 教科会・教科研などを通じて、各教科で教材などに関して学部をこえて情報交換ができています。 67.7**

教科会や教科研などで学部をこえた交流や情報交換の機会を設けている。日頃から他学部と交流する機会をもちたいところであるが、教員の業務が増加する中で時間の確保が難しい。業務の精選を進めながら、夏季休業中などに教材展示や教材交流、研修会や勉強会など、学部をこえた交流を設定していきたい。

**【生徒】**

13項目中、80点台が6項目、70点台が6項目、60点台が1項目となっている。

今年度新しく追加した「13 タブレット端末で楽しく授業できていますか」の項目で、高得点がみられた。ICT 機器を活用した授業で、使用方法や活用方法を学び、興味を持ち、子どもたちが楽しんで取り組んでいることがうかがえる。将来を見据え、子どもたちに身に付けてほしい力「きまりやルールについて」「友だちとの関係」「困りごとの相談」「災害の対応」「食への関心」について、おおむね良い結果であった。教員の指導や支援の在り方、教員との関係性など、子どもたちの目線を大切にしながら全ての児童・生徒に対して細やかに対処していけるように教員体制を整え、様々な場面で、安全・安心な学校づくりに努めていく。また、このアンケート以外に、代表委員会の「学校についてのアンケート」を通して、全校児童・生徒の意見を聞く機会を設けている。以下の2項目は評点が低い。

① **設問 3 「あなたは、担任以外にも、気軽に相談できる先生がいますか」【平均得点69.4】**

児童・生徒数の増加に伴いクラス単位での活動が中心になり、クラス担任との関係性が強くなっている様子がうかがえる。クラスだけでなく、他クラスや他学年の生徒への声かけ、表情を見るなど、教員が児童・生徒の様子を気かけ、話しやすい雰囲気を作るよう意識していく必要がある。

② **設問 6 「あなたは、学校の行事に楽しく参加していますか」【平均得点75.5】**

今年度はコロナ以前同様に、校外学習、宿泊学習、修学旅行、プール学習、また運動会や豊中フェスティバルなどの全校行事を行うことができたが、児童・生徒数の増加に伴って、プール学習数の減少や運動会の時間差開催など制約もあった。児童・生徒が思う存分、行事を楽しめるよう内容の工夫や日時の調整など検討していく。

**5. 学校運営協議会からのご意見**

- ・学校行事の時期の見直しを検討してもよいのではないか。
- ・教職員が学部をこえて交流を深め、情報交換をしながら協力して欲しい。
- ・昨年度より肯定の項目が大幅に向上していることは大いに評価できる。学校全体として子ども、保護者、教職員が連携して学校づくりに取り組んだ成果だと思う。
- ・生徒の回答率が低いのが Google フォームによるものであれば何か改善が必要。
- ・アンケート結果からだけでなく、日々の子どもの状況を把握し、引き続き、子どもたちに寄り添い、様々な場面で安全・安心な学校づくりに努めてほしい。

**6. PTA 運営委員会からのご意見**

- ・環境整備がままならない中、先生方に工夫を凝らして日々ご尽力いただいている状況がうかがえた。PTA として協力できることを模索していきたい。
- ・PTA 役員が子どもと関わる機会は豊中フェスタのみなので、もっと楽しめる機会を増やせるか検討していきたい。
- ・PTA 活動をよく理解できていない保護者や教員が多いと思う。役員をしてはじめて分かったことが多かった。
- ・PTA から今以上に多種多様な情報を発信していくべきだと感じた。
- ・組立室の椅子など、老朽化が気になる。改善に向けて何か保護者も力になればと思った。